

▲BRIG ブレーキパッド取り扱い説明書

1. ブレーキは安全に走行するために非常に重要な部品です。装着には技術を要しますので、**必ず自動車整備資格の有る工場にて取り付けてください。**
2. 交換作業前に、**付帯するブレーキシステム全体(ディスク/キャリパー/ホース他)を点検**して、傷/振れ/摩耗/作動不良/他不具合のある場合には**必ず修理**或いは**交換**してからブレーキパッドを装着してください。
3. ブレーキパッドの**加工/他車種への流用は非常に危険**です。必ずメーカー指定の専用品を装着してください。
4. ブレーキパッドは**衝撃や水以外の液体の染込みに弱い**特性を持っています。落下などでの衝撃が加わった商品/油や薬品が染込んでしまった商品を装着することは危険ですのでご注意ください。
5. ブレーキパッドの**交換作業/点検は火傷の可能性**がありますので、ブレーキシステム全体が充分冷えてから行ってください。
6. 摩擦材から出る研磨粉/摩擦粉の飛散により、体内への侵入や、摩擦材に含まれる金属繊維が手などに刺さることがあります。**防塵マスク/手袋を装着しての作業を推奨**します。
7. **ブレーキフルードは経年変化で劣化**いたします。劣化したフルードは著しく性能が下がりベーパーロックなどを誘発し、ブレーキ性能に影響します。必ず残量/汚れを点検し、定期的に交換してください。(スポーツパッド装着でスポーツ走行をされる場合には通常より大幅に負荷が高くなります。フルードの規格は DOT5 以上を推奨いたします。)
8. ブレーキパッド交換直後はディスクローターとのあたりが出ておらず、本来の性能が発揮されません。**ディスクとのあたりが出るまでは慣らし運転**をする必要があります。ディスクの摩耗や荒れがある場合にはパッドが片摩耗したり、均一に圧力が掛からずに、本来の性能が出ない事があります。その場合にはディスクの研磨/交換が必要です。
9. 当製品にはウェアインジケーター(残量認知シム)が装着されておりません。**定期的に残量を確認**する必要があります。また、摩耗限界は新品より摩材全量の 1/2 までです。半分以下でのスポーツ走行は摩耗が非常に早くなり危険です。交換の目安は摩材残量の 1/2 となります。
10. 降雪地/海岸地域/泥道などで使用されてますと、路面に含まれる塩分により摩材が侵されバックプレートとの接着部などに**錆びが生じ、非常に悪影響**を及ぼす場合があります。塩分などの被害が予想された場合には、走行後に十分な水洗いなどを行う事を強く推奨いたします。また定期的に点検し、異常が認められた場合には速やかに交換してください。セミメタル/フルメタルなどは特に影響を受けやすいので、競技使用以外では他材質のご利用を推奨いたします。

11. 一般車の場合

装着にはパッドとキャリパーの干渉部分にはシリコン耐熱グリースを薄く塗布してください。パッドの動きも良くなり、片摩耗を防げ、鳴き予防にもなります。

※ グリースは極力薄く塗布し、決して摩擦材の面に付着させないでください。

もし摩擦面にグリースが付着した場合にはそのパッドは装着できませんのでご注意ください。もともと装着されておりますパッド背面のシムは新品のパッドにもシリコン耐熱グリースを薄く塗布して装着しなおしてください。鳴きの予防に大きく貢献いたします。また、シムが欠損している場合には、鳴き予防汎用シムも販売されておりますのでご利用ください。

12. スポーツ/競技用途の場合

パッドとキャリパーの干渉部にはシリコン耐熱グリースを薄く塗布してください。パッドの動きも良くなり、片摩耗を防げます。

※ 鳴き予防の汎用シムはスポーツ用には使用できません。

スポーツ用のセッティングはカテゴリー別に専用に設定されております。各カテゴリー以外での組み合わせや、セッティングはブレーキバランスを崩したり、前後片方の摩耗を大幅に早くしたり、効き過ぎ、効き不足など、不具合が発生いたします。競技内容に合ったブレーキの選択を強く推奨いたします。スポーツ/競技用パッドは一般用とは違い、性能優先で製作されております。それぞれの用途に特化されておりますので、一般用とは違い、鳴き/ダスト/摩耗などが劣る場合がありますので、ご了承ください。